マルチパブリッシュの実現とメタ情報の活用

メタ情報活用の効果を引き出す情報提供

Kazutoshi Nimura | Senior Product Marketing Manage

Adobe

テクニカル情報をとりまく環境

DX の浸透にともなう影響

- オンライン需要の更なる高まり
  - 作業環境の変化
    - 電子デバイスの普及、リモートワークの定着
  - 情報インフラの普及
    - クラウドの拡大、社内ネットワークの充実
- 目的別情報への期待
  - 従来の全文情報の維持
  - 要求へのピンポイントの情報提供

Adobe

©2024 Adobe. All Rights Reserved. Adobe Confidential.

テクニカル情報に期待される現実

製品マニュアル/
データシート

手順書

AR/VR

サービス/
ナレッジベース

オーナー
マニュアル

制作

SKU 等

品質管理

保守/点検

リモートサポート/
モニタリング/
トレーニング

サービスマニュアル/
トレーニン

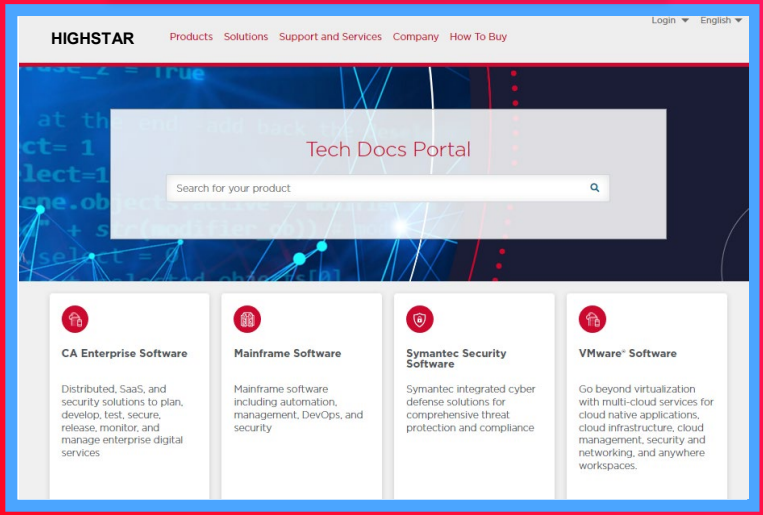
テクニカル情報の制作

カスタマー体験

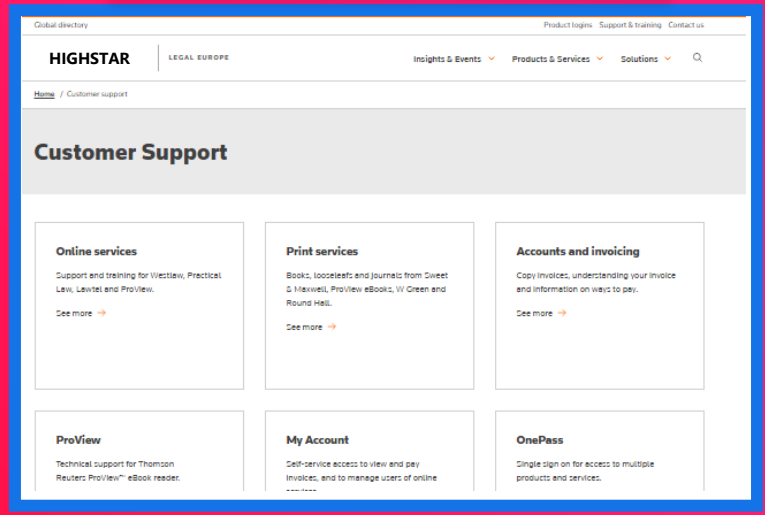
©2024 Adobe. All Rights Reserved. Adobe Confidential.

具体的には

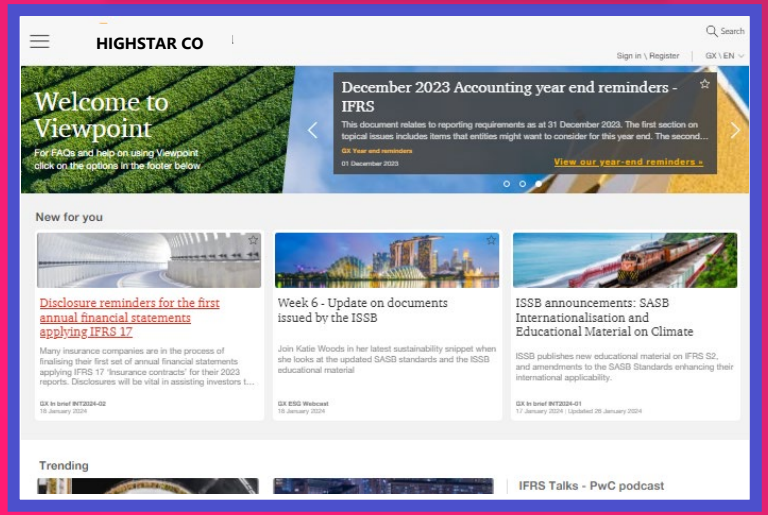
ドキュメントポータル



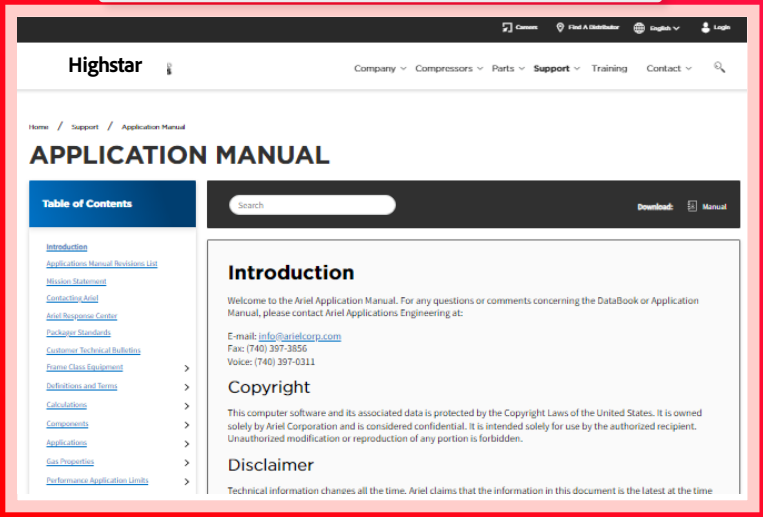
サポートポータル



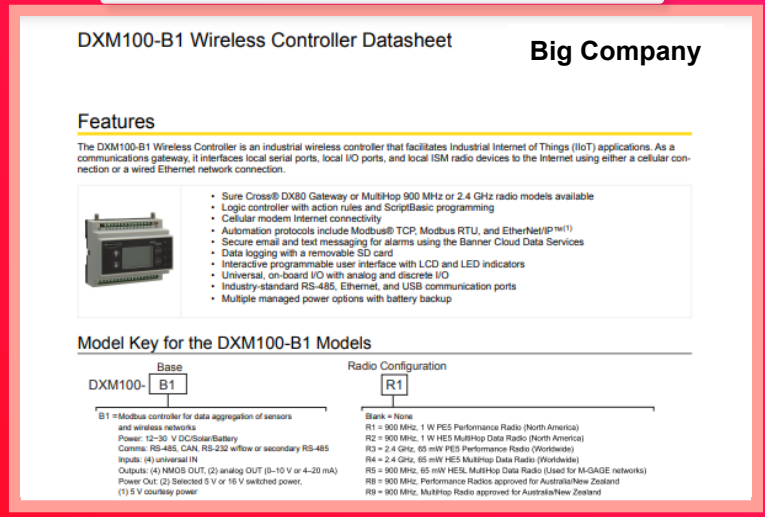
ナレッジベース



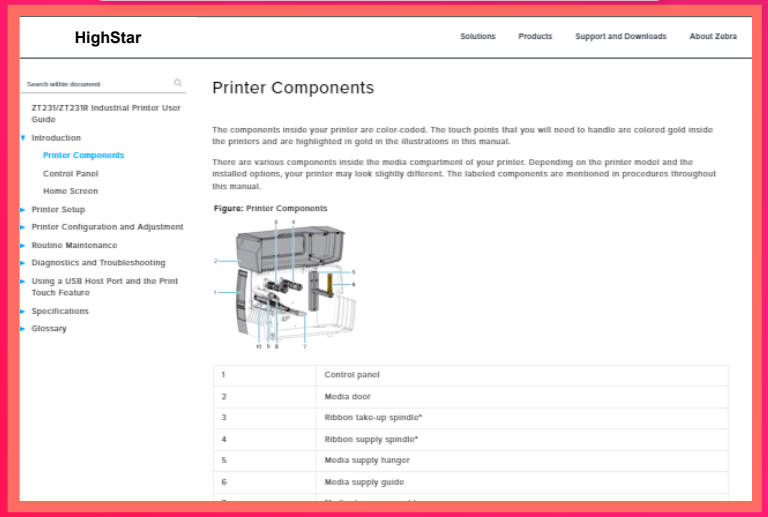
製品マニュアル



データシート



ユーザーガイド

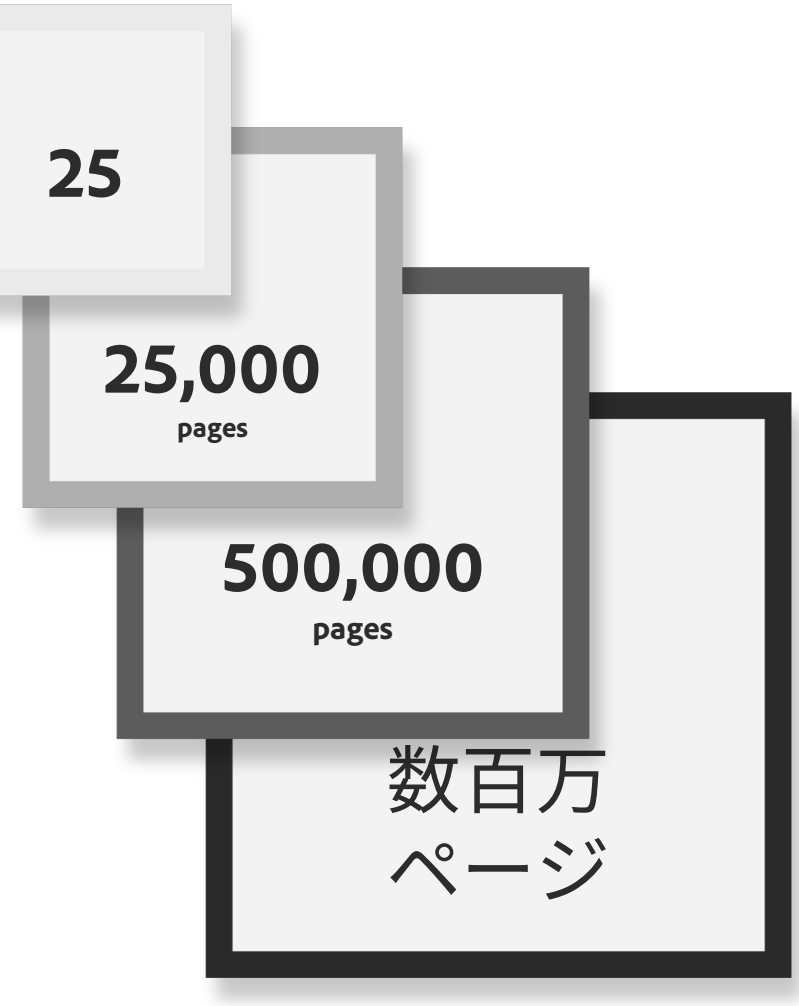


テクニカルコンテンツの需要は急増します

組織が成長するにつれて、技術コンテンツの需要が増加します。コンテンツボリュームは爆発的に増加します

- 新しい地域への展開
- 新製品
  またはサービス
- 配信チャネル
  フォーマットの増加

- 25+ 製品とサービス
- 製品・サービスごとに
  1000ページ
- 20+ 地域/言語
- 顧客プロファイルの増加



Adobe

© 2024 Adobe. All Rights Reserved. Adobe Confidential.

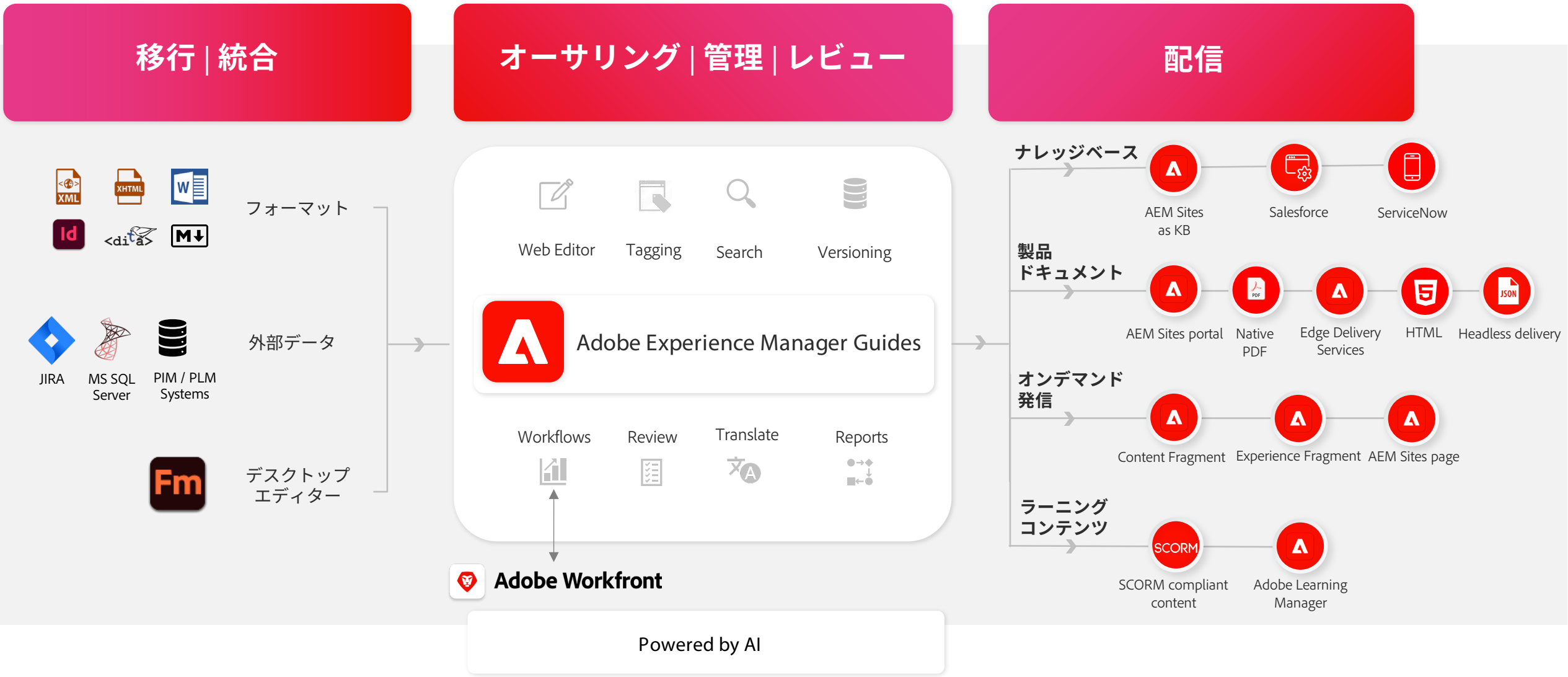
これらの実現に向けた課題は一つではありません。

しかし、制作・配信ソリューションの中心となる機能は

マルチパブリッシング

です。

Adobe Experience Manager Guides とマルチパブリッシュ



© 2024 Adobe. All Rights Reserved. Adobe Confidential.

Adobe Experience Manager Guides でできること (マルチパブリッシュ)

- 既存のテクニカル情報をマルチフォーマットで提供
- 既存のテクニカル情報を再利用して目的別に公開
- Web 解析により、テクニカル情報の効果を把握
- テクニカル情報の内容及び製品機能そのものへのフィードバック
- オンデマンドでの編集への対応
- 配信に適したデザインの標準化と選択肢の提供
- テクニカル情報の制作とテクニカル情報の公開の違いの明確化

Adobe

©2024 Adobe. All Rights Reserved. Adobe Confidential.

マルチパブリッシュから期待できるビジネスメリット

- 情報へのアクセスポイントの増加

    -> Web 解析により、テクニカル情報の効果を把握

        -> テクニカル情報の内容改善

        -> 製品機能そのものへのフィードバック

これらのメリットを効果的に得るためにはメタ情報の拡充が必須となります。

Adobe

©2024 Adobe. All Rights Reserved. Adobe Confidential.

後半ではメタ情報に求められる
役割について深掘りします

Adobe